

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>1. 各専攻・各学科における FD 関連事項に関して協議する場を持った。</p> <p>2. 学部教務委員会および研究科教務委員会において FD 関連事項に関して協議した。</p> <p>3. カリキュラムの改善（現行科目の見直しなど）を検討した。</p> <p>4. FD に関する講演会および農学セミナー（教員のプレゼンテーション能力を改善するとともに、研究分野の最新的话题を教員・学生等に提供するためのセミナー等）を開催し、参加を推進した。</p> <p>5. 研究公正に関する知識習得機会の利用を推進した。</p> <p>6. 海外等から招聘する教員や visiting professor による講演を積極的に実施した。</p> <p>7. 一部の科目において講義科目において独自の授業アンケートを積極的に実施した。</p> <p>8. 「授業振り返り（授業アンケート）」への積極的な参加を学生に呼びかけるとともに、教員コメントの入力も推進した。</p> <p>9. 学部においては各学年のアドバイザーの間での情報交換を行った。</p> <p>10. 学期ごとの単位修得状況を、学生アドバイザー及び指導教員等が把握し、学生に対する個別指導を行った。</p> <p>11. 「障がいのある学生への合理的配慮」等、学生からの修学上の支援要請がある場合、教員間での情報共有等の適切な対応を行った。</p> <p>12. GPC 成績一覧表を参考に各専攻・学科内で協議し、講義内容と評価方法の改善を促した。</p>		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数 (内教員数)
2025 年 4 月 22 日(火)	<b>農学セミナー1</b> ・ストレス耐性農作物作出に向けての研究／白柿 薫平 (大阪公立大)、オーガナイザー：手塚 孝弘	31 (16)
2025 年 5 月 22 日(火)	<b>農学セミナー2</b> ・ Phylogenomics clarifies Balanophora evolution, metabolic retention in reduced plastids, and the origins of obligate asexuality／Petra Svetlikova (OIST)、オーガナイザー：青木 考	10 (3)
2025 年 5 月 30 日(金)	<b>第 1 回絵札研究会</b> ・「植物由来タンパク質を用いた感染症対策プラットフォームの構築」／望月 知史 (大阪公立大)、オーガナイザー：小泉 望	49 (20)
2025 年 7 月 4 日 (金)	<b>農学セミナー3</b> ・ Cell-to-cell transport in differentiated roots／Marie Barberon (Univ. Geneva), Cellular adaptations to organic transport in	21 (5)

	plants/Lothar Kalmbach (Univ. Neuchatel)、オーガナイザー：高野 順平	
2025年8月1日(金)	<b>第2回絵札研究会</b> ・「京都府立大学における「食」に関する「学際教育、産学公連携、起業」の取組み」/増村 威宏(京都府立大)、オーガナイザー：小泉 望, 横井 修司	50 (15)
2025年9月25日(木)	<b>農学セミナー4</b> ・化学と生物で解き明かすエネルギー代謝の構造と機能/村井 正俊(京大)、オーガナイザー：甲斐 建次	60 (9)
2025年9月29日(月)	<b>第3回絵札研究会</b> ・「都市農業の社会実装構想と実践」/芹澤 孝悦(プランティオ株式会社) 他、オーガナイザー：横井 修司	50 (15)
2025年10月15日(水)	<b>農学セミナー5</b> ・The molecular interaction between host sunflower and parasitic broomrape/Da Ha (Inner Mongolia Univ.)、オーガナイザー：岡澤 敦司	21 (9)
2025年10月22日(水)	<b>農学セミナー6</b> ・Site-specific histidine aza-michael addition in proteins enabled by a ferritin based metalloenzyme/Yane-Shih Wang (Natl. Taiwan Normal Univ.)、オーガナイザー：藤枝 伸宇	23 (2)
2025年10月30日(木)	<b>農学セミナー7</b> ・Role of inositol pyrophosphates in phosphate sensing, plant-microbe interactions and immunity/Gabriel Schaaf (Univ. Bonn)、オーガナイザー：高野 順平	29 (6)
2025年10月31日(金)	<b>農学セミナー8</b> ・AGO5 restricts virus vertical transmission in plant gametes/Marco Incarbone (MPI-MP)、オーガナイザー：望月 知史	16 (5)
2025年11月7日(金)	<b>農学セミナー9</b> ・腸内細菌叢の形成メカニズムと宿主との相互作用/高田 紘翠(大阪公立大)、オーガナイザー：片岡 道彦	30 (9)
2025年11月12日(水)	<b>農学セミナー10</b> ・農薬の安全性を巡る攻防：科学と社会の接点/的場 好英(住友化学株式会社)、オーガナイザー：小泉 望	25 (11)
2025年11月18日(火)	<b>農学セミナー11</b> ・植物の「高温ストレス耐性と成長のトレードオフ」の分子実体の解明/高塚 大知(奈良女子大)、植物細胞内の『超混雑環境』でオルガネラ動態を維持する仕組み/甘利 俊樹(金沢大)、オーガナイザー：稲田 のりこ	16 (5)
2025年12月3日(火)	<b>農学セミナー12</b> ・Biotechnological approaches in crop breeding: advancing food	39 (4)

	and nutritional security/Iqbal Munir (Univ. Agric., Peshawal)、 オーガナイザー：中澤 昌美	
2026年12月5日(金)	<b>第4回絵札研究会</b> ・「Plant Made Pharmaceuticals セミナー」/厚見 剛 (産 総研) 他、オーガナイザー：望月 知史	90 (9)
2025年12月12日(火)	<b>シンポジウム「自然共生を基盤とする農学を考える」— Pioneering the future of farming</b> ・持続可能性を究める研究で農を拓く—/鈴木 丈詞 (東 京農工大) 他、オーガナイザー：青木 考, 岡澤 敦司, 望 月 知史	30 (10)
2025年12月12日(火)	<b>農学セミナー13</b> ・グローバルリーダー奨学金制度の紹介/木下 花菜子 (大阪公立大)、オーガナイザー：小泉 望	10 (10)
2026年1月21日(水)	<b>第5回絵札研究会</b> ・「農学研究科における産学連携ピッチトーク」～企業と の出会いや協働の進め方～/東條 元昭 (大阪公立大) お 他、オーガナイザー：岡澤 敦司	40 (20)
2026年3月31日(水)	<b>第6回絵札研究会</b> ・農学から世界へ Agriculture Toward a Global Future/白石 晃将 (京大)、オーガナイザー：三浦 夏子	62 (13)

### 3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催

会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)～について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
農学研究科教務委員 会	<b>第1回 (6月9日)</b> ・農学部FD活動の取組予定内容の審議 (学部と合同提 出) についてなど <b>第2回 (10月15日)</b> ・アセスメントシートの作成、自己点検・評価報告書の 作成、年次点検評価報告書についてなど <b>第3回 (11月20日)</b> ・カリキュラム変更の審議、科目ナンバリングの見直 し、農学研究科カリキュラム・ポリシーの修正について など <b>第4回 (12月17日)</b> ・農学研究科要覧の作成、農学研究科規程の改正につい てなど	8
農学部教務委員会	<b>第1回 (5月13日)</b> ・部局FDの実施計画作成依頼についてなど <b>第2回 (6月11日)</b>	8

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農学部 FD 活動の取組予定内容の審議（研究科と合同提出）、カリキュラム変更の検討、アセスメントリストの再検討についてなど</li> <li><b>第 3 回（7 月 9 日）</b></li> <li>・森之宮キャンパスで開講される農学部専門科目の再履修に関する申しあわせについて、全学自己点検・評価の実施についてなど</li> <li><b>第 4 回（9 月 10 日）</b></li> <li>・大阪公立大学科目等履修生に関する依頼についてなど</li> <li><b>第 5 回（10 月 14 日）</b></li> <li>・アセスメントシートの作成、年次点検評価報告書、カリキュラム変更についての審議など</li> <li><b>第 6 回（11 月 11 日）</b></li> <li>・農学部カリキュラム・ポリシーの修正、科目ナンバリングの見直しについてなど</li> <li><b>第 7 回（12 月 9 日）</b></li> <li>・履修要項の作成、農学部規程の改正についてなど</li> <li><b>第 8 回（1 月 20 日）</b></li> <li>・農学部規程の改正の審議、部局 FD の実施報告の作成について</li> </ul>	
<p>応用生物科学専攻・学科会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>第 1 回（4 月 25 日）</b></li> <li>・研究科・学部会議報告、学域運営会議報告、学部・学科の HP 更新についてなど</li> <li><b>第 2 回（6 月 2 日）</b></li> <li>・研究科・学部会議報告、大学院科目のカリキュラム変更、副専攻、GP・GPC の検討、ていら・みすのデータ、3 年生キックオフミーティングについてなど</li> <li><b>第 3 回（6 月 30 日）</b></li> <li>・研究科・学部会議報告、学域運営会議報告、大学院副指導教員との面談、森之宮キャンパス開講科目、転学部・転学科の実施についてなど</li> <li><b>第 4 回（7 月 28 日）</b></li> <li>・研究科・学部会議報告、将来計画検討委員会報告、副専攻、オープンキャンパスについてなど</li> <li><b>第 5 回（8 月 25 日）</b></li> <li>・研究科・学部会議報告、学域運営会議報告、オープンキャンパスについてなど</li> <li><b>第 6 回（9 月 29 日）</b></li> <li>・研究科・学部会議報告、学域運営会議報告、副専攻、大阪サイエンスデイについてなど</li> </ul>	<p style="text-align: right;">22</p>

	<p><b>第7回（10月27日）</b> ・研究科・学部会議報告、農学部教務委員会での検討事項についてなど</p> <p><b>第8回（12月1日）</b> ・研究科・学部会議報告、学域運営会議報告、高校生向け農学セミナー、GP・GPCの検討、授業ふり返しについてなど</p> <p><b>第9回（12月19日）</b> ・研究科・学部会議報告、研究科教務委員会からの確認事項、実験機器充実負担金・実習充実負担金WGについてなど</p> <p><b>第10回（2月2日）</b> ・研究科・学部会議報告、学域運営会議報告、学生の動向についてなど</p>	
応用生物科学科実験・実習担当者会議	<p><b>第1回（2月2日）</b> ・次年度学生実験・実習の担当者や内容についてなど</p>	6
生命機能化学専攻教員会議	<p><b>第1回（4月30日）</b> ・研究G配属ルールについて</p> <p><b>第2回（6月3日）</b> ・4年進級に課題のある学生について</p> <p><b>第3回（7月1日）</b> ・欠席学生について</p> <p><b>第4回（9月2日）</b> ・研究倫理について</p> <p><b>第5回（9月29日）</b> ・学生の持つ学科に対するイメージ調査としてのワードクラウド作成について</p> <p><b>第6回（10月27日）</b> ・食品安全科学プログラム履修に関わる交通費補助について ・農学部オープンセミナー（森田先生担当）について ・ワードクラウド作成のアンケート調査依頼について ・留年生の4年生進級について ・大学院入試の募集の取り決めについて</p> <p><b>第7回（12月19日）</b> ・食品安全科学プログラム履修について</p> <p><b>第8回（2月2日）</b> ・留年生の4年生進級について</p>	22
生命機能化学専攻教授会議	<p><b>第1回（4月30日）</b> ・科目および担当の編成について</p>	8

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命機能化学キャリアデザインの研究所見学について</li> <li><b>第2回（7月1日）</b></li> <li>・科目および担当の編成について</li> <li><b>第3回（10月27日）</b></li> <li>・秋入学について</li> <li><b>第4回（12月19日）</b></li> <li>・英語コース提供科目について</li> <li><b>第5回（2月2日）</b></li> <li>・科目および担当の編成について</li> </ul>	
生命機能化学科実験 担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>第1回（7月29日）</b></li> <li>・次年度学生実験 TA 業務についてなど</li> <li><b>第2回（12月2日）</b></li> <li>・学生実験室備品の実査など</li> <li><b>第3回（12月11日）</b></li> <li>・学生実験用機器についてなど</li> <li><b>第4回（2月19日）</b></li> <li>・次年度学生実験についてなど</li> </ul>	14
緑地環境科学専攻教 員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>第3回（6月27日）</b></li> <li>・博士論文の規定の確認について</li> </ul>	18
緑地環境科学専攻教 員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>臨時教員会議（8月5日）</b></li> <li>・博士前期課程の定員について</li> </ul>	12
緑地環境科学専攻教 員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>第5回（9月26日）</b></li> <li>・教学アセスメントの確認について</li> <li>・修業年限以内の修了率を高めるための取り組みについ て</li> <li>・カリキュラムマップに基づく履修指導の検討について</li> </ul>	13

#### 4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組

##### 【応用生物科学科・専攻】

- ・学科会議（6月2日）において、2024年度前期および後期開講科目の成績 GP 分布および GPC データを分析し、問題点を共有した。
- ・学科会議（12月1日）において、2025年度前期開講科目の成績 GP 分布および GPC データを分析し、問題点を共有した。

##### 【生命機能化学科・専攻】

- ・学科・専攻メール会議（5月15日）において、2024年度前期および後期開講科目の成績 GP 分布および GPC データを分析し、問題点を共有した。
- ・学科・専攻メール会議（1月9日）において、2025年度前期開講科目の成績 GP 分布および GPC データを分析し、問題点を共有した。

##### 【緑地環境科学科・専攻】

- ・緑地環境科学専攻教員会議（5月30日）において、2024年度前期および後期開講科目の成績 GP 分布および GPC データを分析し、問題点を共有した。

・緑地環境科学専攻教員会議（9月26日）において、2025年度前期および後期開講科目の成績 GP 分布および GPC データを分析し、問題点を共有した。

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数

（67名（応生22名、生命23名、緑地22名））人

・所属内の専任教員の人数（67名（応生22名、生命23名、緑地23名））人

6. その他、追記事項

・2025年度後期からの森之宮キャンパス開設に伴い、1年生担当専門必修科目（森之宮開講）の再履修に関して農学部内での申し合わせを行った。2年生以上の再履修生については、森之宮キャンパスで受講できない場合に限り、非同期オンライン授業で受講できるシステムを構築し、運用した。

・12月15日開催のFD研究会セミナー「各学位プログラムにおける学生の学修状況・学修成果の評価」において、農学部・研究科より「農学部・研究科における学生の学修状況・学習成果の評価」のタイトルで話題提供を行った。

・大学教育だよりに、農学部・農学研究科より「応用生物科学専攻における副研究指導教員を活用した大学院研究指導体制」について寄稿した。